



令和6年3月22日
北海道穂別高等学校
第221号・春号

「穂別高校2年目の思い」

北海道穂別高等学校長 岩瀬 均



今年の卒業式も生徒たちの真摯な取り組みで、厳粛な空気に包まれた素敵な授与式となりました。まさに穂高生ここにありを再確認いたしました。

現在は小規模校の学校ではありますが、70有余年に涉り町や地域産業やコミュニティを支える同窓生方の活躍を見聞きし、2年目は同窓生及び本校に関わった先生方の竜が昇るかのような足跡を受け止めております。また地域を出ると、この地の大自然と恐竜・化石の壮大なロマンへの知名度に改めて驚かされるばかりです。穂別に暮らす一員として、心踊る自慢のひとつであります。

校内では、プロアクティブな発想のもと教員による授業内容の充実・改善に加え、生徒たちも主体性をもって自らの発想を周囲と協力しながら熟考させ、発信につなげる力を徐々に獲得しております。これは、これからの社会で生きていく大切な力のひとつになっていきますので、引き続き探究活動やキャリア教育の実践、学校祭など様々な行事を盛り込み、充実した学校生活となるよう進めていきます。

新年度は、新入生から2年生・3年生の全学年が揃う最後の年となります。学校の歩みが充実感溢れる穂別高校の日々となるよう、私をはじめ教職員、学校関係組織がより一層協力体制を高め、生徒の学びと成長を応援していくよう努めて参りますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。



令和5年度 第73回卒業証書授与式

3月1日(金) しんしんと雪が降る中、本校体育館において第73回卒業証書授与式が行われました。3年生6名、一人ひとりに校長先生から卒業証書が手渡されました。卒業生6名は、コロナ禍で入学し、3年生になるとコロナの5類への移行、学年が上がるごとに担任の変更など変化の多い環境下での学校生活を送ってきました。そのような環境でもそれぞれ順応し、それぞれの活動を全力で取り組んだ3年間でした。卒業生のみなさんが夢を叶え、それぞれの幸せをつかんでくれることを願っています。ご卒業おめでとうございます。

最後になりましたが、お忙しい中、本校卒業式へ来校していただいた皆様、ありがとうございました。



令和5年度 皆勤表彰者

今年度1年間の皆勤賞の生徒は、1年生1名、2年生1名、3年生1名、精勤賞は3年生2名でした。コロナも第5類に移行され、感染対策や健康管理が緩みがちではありますが、4月からの新学年でも元気に頑張ってもらいたいです。1年間よく頑張りました。おめでとう！！

令和5年度〈各種検定・資格試験合格者〉※令和6年3月20日 現在

- ☆ 実用英語技能検定 (準2級 2名 / 3級 2名)
- ☆ 日本漢字能力検定 (2級 1名 / 3級 3名)
- ☆ 全商情報処理検定 (3級 5名)
- ☆ 全商ビジネス文書実務検定 (2級 3名 / 3級 6名 / 3級速度部門 1名)



批判という風を心に入れろ！

去る3月19日（火）1校時から4校時まで、国語科と社会科連携による教科成果発表会を実施しました。内容は1、2年生対抗によるディベートと百人一首カルタ大会です。「遊びの中から学びの本質を体験する」ということを目的とした企画です。言うまでもなく、ディベートは相手を批判し、論破するゲームです。本校生徒にとって、他人を批判するというのは大の苦手とする部分です。何故なら、多くは中学時代にいじめや人間関係で悩み、不登校だった生徒達だからです。彼らにとって他人と対話したり、他人を批判するこ



とは、生活する上での大きな「壁」なのです。

扉に変える勇気を持て！

しかし、考えてみると「批判」は、社会で生きていく上で必要な要件でもあるのです。キノコは風通しの悪いジメジメした環境に生え、繁殖するように、批判という風のない組織はやがて腐敗していく。批判は決して疑い深く、意地悪な意見ではない。むしろ、批判は「風」なのです。頬には冷たい風が肌を乾燥させ、悪い菌の繁殖を防ぐ役割があるように、人間の組織にも批判することは必要なのです。だからこそ、やがて社会で生きていく生徒達には、この壁を扉に変えて新しい風を心に取り入れなければならないのです。



そんな思いを込めて取り組んだ今回の企画は、教科としても一つの勇気ある挑戦なのです。その成果はこれから彼らの生き方に変化として現れることを期待して今回の企画を終えたのです。

離任される教職員より

塚西 圭 教頭（石狩管内 札幌真栄高校へ）

小高い丘の上に立つ本校から見える景色は、春も夏も秋も冬も、そして朝も昼も夜も様々な表情を見せてくれました。特に、仕事終わりに「疲れた～」と思いながら眺める夜景にはいつも心洗われました。夜景？と思う方もいるかもしれませんが、なかなかどうして美しいんですよ。この度、札幌真栄高等学校で再び教壇に立つことになりました。わずか1年という期間でしたが、この学校の役割の大きさとそれを全うしようという先生方の熱意を感じながら充実した時間を過ごすことができました。穂別高校は素晴らしい学校です。これからも皆様にご支援いただけると幸いです。1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

板垣 晶大 事務職員（上川管内 東川養護学校へ）

事務職員最初の勤務先が穂別高校であり、保護者の皆様、地域の方々、本校教職員の皆様の支えのおかげで何とかやってこれたと、そう思う1校目での業務でした。心より感謝申し上げます。事務としてのいろはを覚え、多岐に渡る業務を担当させていただけたこと、他の教職員の皆さんと楽しく仕事できたことも、今後の事務員人生の大きな財産です。次の勤務先は東川養護学校で、学校種も大きく変わり、また未知の世界に挑むこととなりますが、穂別高校で培ったことを忘れず精進して参ります。4年間、本当にお世話になりました。

4月行事予定

■3月22日（金）修了式・離任式 ■3月23日（土）～4月7日（日）まで、年度末・年度始休業
（3月27日（水）PTA役員会 / 29日（金）新入生・保護者オリエンテーション、穂別高校生登校禁止）

- 8日（月）着任式・前期始業式・身だしなみ点検（2・3年）・入学式
- 9日（火）新入生ガイダンス・身だしなみ点検（1年）
- 10日（水）対面式
- 11日（木）尿検査（1次）・基礎力診断アンケート・証明写真撮影
- 12日（金）第1回基礎力診断テスト
- 18日（木）春期交通安全街頭指導・スクールカウンセラー来校
- 22日（月）身体測定
- 25日（木）尿検査（2次）
- 26日（金）生徒総会・壮行会
- 27日（土）授業参観・PTA総会（午前授業）・保護者向け進路講話

